

# 第1回 苫小牧市多文化共生推進会議 資料

---

## 苫小牧市多文化共生指針 施策の推進状況について

苫小牧市総合政策部未来創造戦略室

# 苫小牧市多文化共生指針策定までの経緯

## 背景

- 外国人市民の継続的な増加（現在1800人超）
- 「苫小牧都市再生コンセプトプラン」の策定（令和2年度末）

## 目的

- 「苫小牧都市再生コンセプトプラン」のうち、人材育成や多文化共生の具現化。
- 外国人材が活躍する社会の実現
- 地域の生活者として、「日常的に」外国人と日本人が共生すること



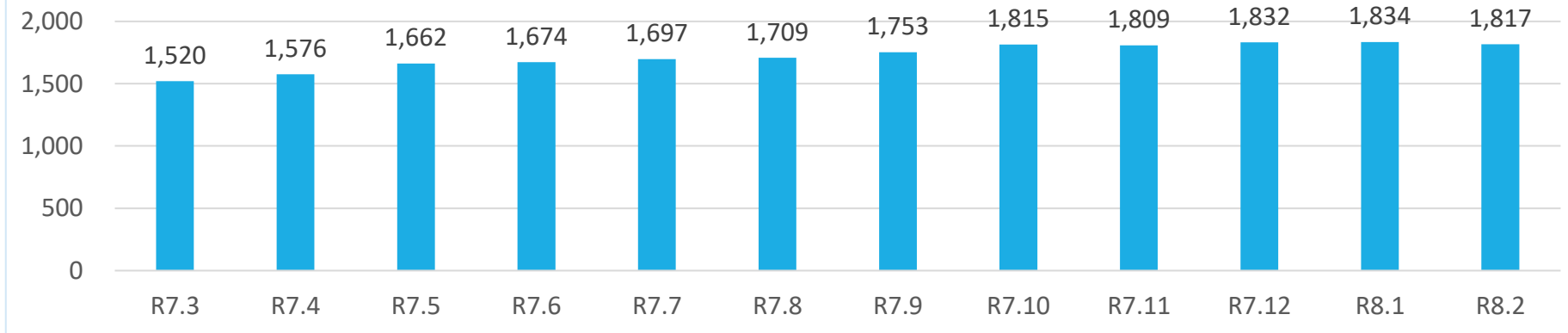
多文化共生の意義を可視化し、本市の課題解決や成長戦略の一助となることを目指し、令和7年3月に「苫小牧市多文化共生指針」策定

## 多文化共生の意義

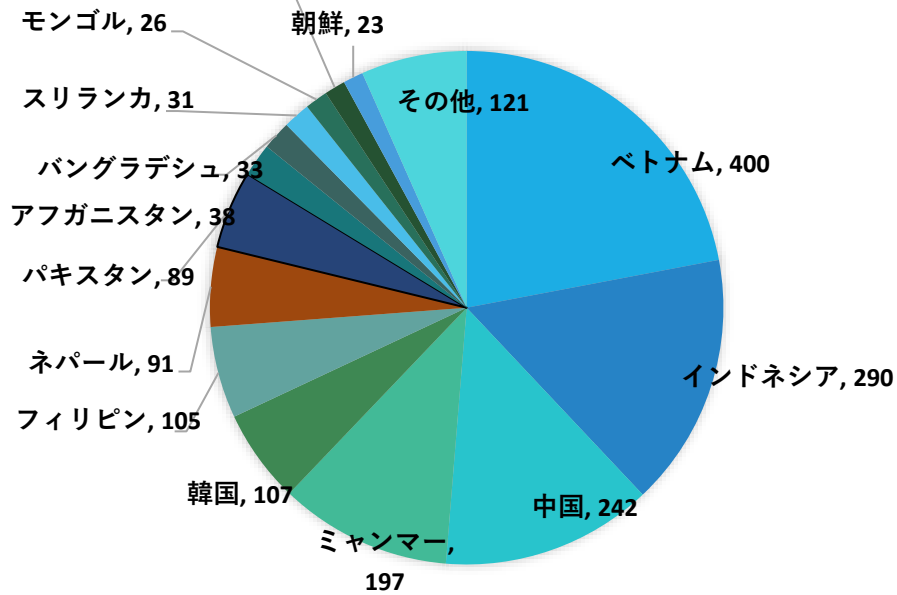


# 本市における外国人市民の人口について

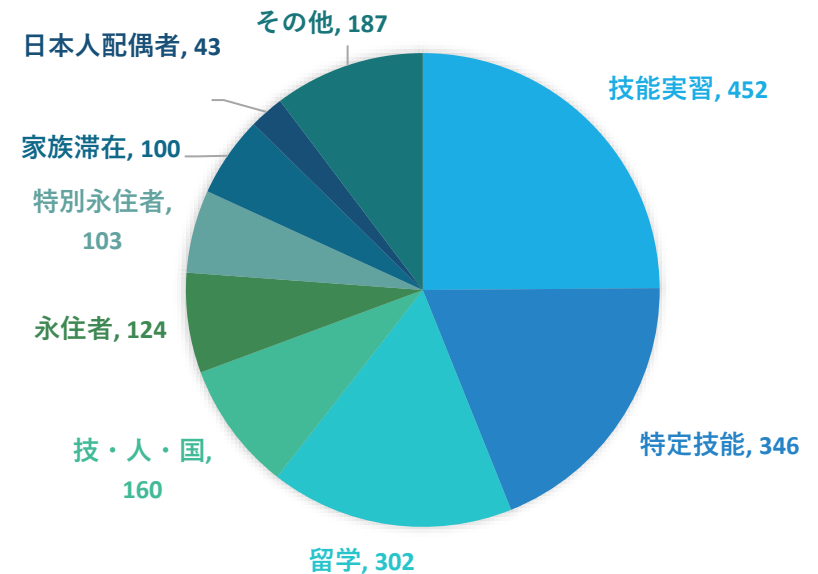
## 外国人市民人口推移（1年間）



## 国籍別割合（R8.2時点）



## 在留資格別割合（R8.2時点）



# 「苫小牧市多文化共生推進会議」について

---

「苫小牧市多文化共生指針」に基づく施策について、  
各分野からの意見を取り入れて推進することを目的とする。

施策に基づく  
取組状況の共有

今後の取組に対する  
意見交換

指針の策定・改訂  
(次回令和9年度予定)

- 年度末に1回程度実施予定
- 指針改訂の令和9年度は複数回開催の可能性あり
- 指針の計画期間毎に委員を委嘱する。

# 取組状況の整理

---

## 庁内ヒアリングの実施

### 全体的な傾向（課題面）

#### ルールやマナーに関すること

- 外国人市民が、日本のルールやマナーを理解しているのか、また不理解による摩擦が起きないかという懸念がある

#### 意識に関すること

- 外国人市民に対して固定観念が見受けられ、特定のイメージを解消する必要がある

#### 考え方・視点に関すること

- 多文化共生＝外国人市民のための施策、という考え方が強く、外国人を含む全ての市民に関連するものという視点が薄い

#### エビデンスに関すること

- 外国人市民や関連団体などからの直接的なニーズやエビデンスが確認できなければ、具体的な行動を起こすことが難しい

懸念や疑問がある一方、既に取り組んでいるまたは検討しているといった声も多かったことから、庁内における取組を整理した

# 令和7年度の取組内容

## 別添資料：「苫小牧市多文化共生指針関連取組対応表」

令和7年度における取組実施内容を右記の「目指す姿」から「施策」に対応させ整理した資料



# 令和7年度の取組内容（国際交流サロン関連）

## 国際交流サロンの運営

施策  
I - 2 - 2-3  
II - 4

市役所内に、国際交流サロンを設置。外国人からの生活や諸手続きに関する相談を受け付ける外国人相談窓口及びボランティア講師による地域日本語教室の運営などを行う。

対応日時	平日の開庁時間
相談窓口実績 (R8.3.23時点)	相談件数：93件
日本語教室実績 (R8.3.23時点)	学習者：18名 ボランティア講師：8名
運営	未来創造戦略室職員 (CIR・中国籍職員含む)



がいこくじんそうだんまどぐち  
外国人相談窓口  
Foreign Resident Help Desk

利用言語 / Available Language	受付 / Day	時間 / Time
日本語・機械通訳 Japanese・Machine Translation	[月]~[金] Mon - Fri	8:45 - 17:15
英語 / English		8:45 - 18:00
中国語 / 中文		8:45 - 18:05



# 令和7年度の取組内容（国際交流サロン関連）

## 地域日本語ボランティア講座の実施

施策  
Ⅱ - 4  
Ⅳ - 12 - 12-1

地域日本語教室におけるボランティア講師を養成するための講座を実施。  
日本語ボランティアとしての考え方や、指導方法などをレクチャー。

日程	令和8年2月26日(木) 3月4日(水) 3月18日(水)
参加者	8名
講師	HISAE日本語学校北海道とまこまい校 校長 五十嵐啓子様 地域日本語教室有償ボランティア講師 藤島夕紀代 様



# 令和7年度の取組内容（国際交流サロン関連）

## 国際交流ボランティア説明会の実施

施策  
Ⅱ - 6 - 6-1

苫小牧市国際交流ボランティア登録者向けに、イベントなどにおけるボランティア活動を見据えた説明会を実施。

今後地域でボランティアとして活躍していただくことを目指し、外国人を支援する姿勢やボランティア活動について説明した。

日程	令和7年7月8日(火)
場所	ココトマ
参加者	18名
講師	北海道多文化共生NET 代表理事 五十嵐啓子様
備考	公共サービス民間提案制度 「国際化推進事業」



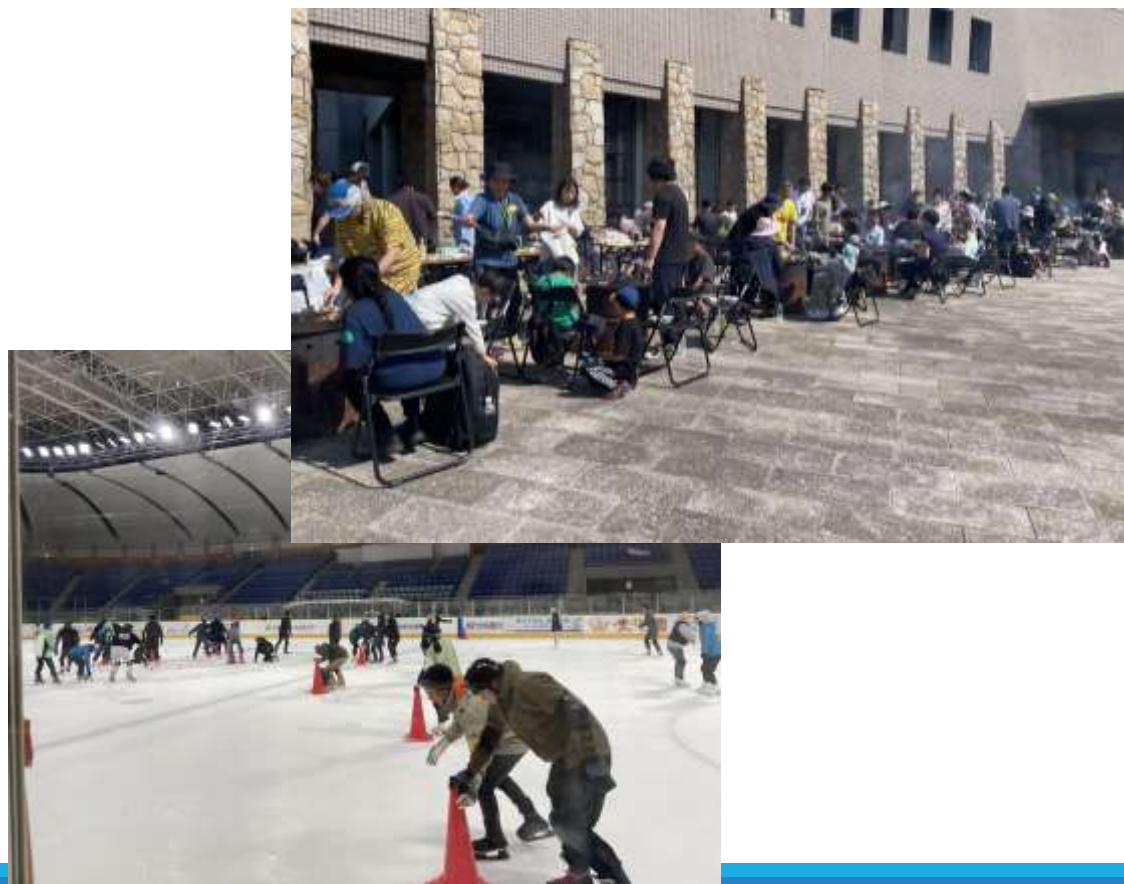
# 令和7年度の取組内容（未来創造戦略室関連）

## 「スケート体験×100人BBQ」開催

施策  
II - 6 - 6-2

外国人市民と日本人の交流会として実施。（2年連続）  
苫小牧にゆかりのあるスケートとしばれ焼きスタイルのBBQで、市民同士の交流を行った。

日程	令和7年9月15日（月祝）
場所	nepiaアイスアリーナ
参加者	約100名
備考	公共サービス民間提案制度 「国際化推進事業」



# 令和7年度の取組内容（未来創造戦略室関連）

## 職員向け研修「市職員が知っておきたい多文化共生」の実施

施策  
| - 1 - 1-2

多文化共生の意義に対する理解促進及び市職員が求められる多文化共生社会実現のための対応などを考えてもらう機会として、研修を実施。庁内ヒアリング対象部署を中心とした各課の職員が参加した。

日程	令和8年2月12日(木)
参加者数	22人
講師	有限責任監査法人トーマツ 石村史 様 JICA北海道苫小牧デスク 藤島夕紀代 様
備考	委託事業「苫小牧市多文化共生推進業務」



# 令和7年度の取組内容（未来創造戦略室関連）

## 児童センターにおける出前講座の実施

施策  
IV - 10 - 10-1,2

アメリカ出身のCIR（国際交流員）による出前講座を実施。  
異文化理解を目的として、子どもたちにアメリカ文化の紹介や、ゲームを通じて交流を行った。

日程	令和8年1月23日(金)：錦岡 3月16日(月)：旭 町
参加者	小学校低学年の児童



# 令和7年度の取組内容（庁内連携）

## 未来創造こども会議「多文化共生リーダーになろう」の実施

施策			
I	-	1	- 1-2
IV	-	10	- 10-1
IV	-	12	- 12-2

市青少年課主催事業「未来創造こども会議」において、多文化共生に関する講義及びワークショップを実施。

学びをもとに、「学校」と「社会」それぞれにおける多文化共生の新たな取組を子どもたちが提案。

日程	令和7年10月4日(土) ～12月13日(土)
参加者	市内小学5～中学3年生 9名 高校生スタッフ 3名
提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食における多文化共生メニューの提供</li> <li>小学校における多文化共生クラブ発足の検討</li> <li>小中学校における多文化共生に関する出前講座の周知など</li> </ul>



# 令和7年度の取組内容（庁内・官民連携）

## 防災イベント「備えるフェスタ」における外国人ブースの出展

施策			
I	-	3	- 3-1
II	-	6	- 6-2

ブースでは外国人市民との「やさしい日本語」を使ったロールプレイや防災グッズの紹介を実施。外国人と一緒に防災を考える機会を提供した。

日程	令和7年11月2日(日)
場所	総合体育館
ブース 体験者数	200名程度
主催	一社 苫小牧タウンマネジメント 苫小牧市



# 令和7年度の取組内容（庁内・官民連携）

## とまこまいスポーツフェスティバルに外国人市民が参加

施策  
Ⅱ - 6 - 6-2

例年スポーツの日に開催されている「市民大運動会」に留学生を中心とした外国人市民が参加。スポーツを通じて、日本人市民との交流（競争）を行った。

日程	令和7年10月13日 (月・祝)
場所	総合体育館
参加者	1,810名 (うち外国人 約50名)
内容	AJTA（スポーツ玉入れ） パン食いリレー 100人綱引き など
主催	公財 苫小牧市スポーツ協会 苫小牧市

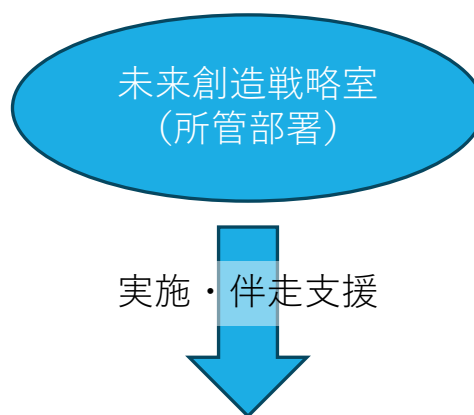


# 今後に向けて

---

## 令和8年度の取り組みの方向性

未来創造戦略室が起点となり、市役所全体で「多文化共生指針」に基づく取り組みを推進し、市全体へ波及させることを目指す。



### 主な取組内容

- 1 令和7年度に検討した事項の着実な実施
- 2 庁内ヒアリングで把握した課題の解決や未来創造こども会議の提言等を具体化
- 3 職員への意識醸成や対応力の向上
- 4 企業・団体等との連携強化
- 5 中長期的な視点になった施策の検討

# 今後に向けて

## 多文化共生ポータルサイト（仮称）の作成及び運用開始

- 多文化共生に関する情報及び外国人向けの情報を集約して、「わかりやすく効果的な」情報発信
- 外国人を含むすべての市民が様々な情報にアクセスする際の、「入口」として機能

メインメニュー	タイトルコンテンツ	詳細コンテンツ
くらす		
まちの紹介	気候   人口   市の方針・ビジョン	
色々な手続き	転入・転出   国民健康保険・国民年金   税金   在留カード・在留資格   運転免許証   結婚・離婚・出産	
日常生活	家を借りる・買う   電気・水道・ガス   ごみの出し方   資産管理・銀行   買い物   交通   防犯   ケガや病気・病院   子育て・保育・福祉・介護   日本の生活文化・マナー	
緊急のとき	防災   災害時・避難	
はたらく		
しごとのこと	仕事探し   転職   家族の就労	
ルールやマナー	法律・ルールなど   日本の就労文化・マナー	
働く人の声	製造業   運輸業   医療支援・介護   教育   (市内の会社の情報・口コミ)	
まなぶ		
日本語	日本語教室   日本語学習	
教育制度	日本の教育制度   入学の手続き	
文化やマナー	日本の学校文化・マナー	
たのしむ		
地域行事・イベント	市内の主な行事・イベント   多文化共生関連イベント   イベントカレンダー	
スポーツ・文化施設	施設一覧   施設でできること	
ボランティア活動	ボランティアの機会   市内の主な活動団体	
地域の観光	地域の主な観光スポット   地域の名産品	
地域の歴史・文化	地域の歴史   地域の文化	
企業の方へ		
外国人材受入情報	受入前   受入時   受入後	
About		
わたしたちについて	概要   お問い合わせ	